

人をいたわり自分を表現

道化師に学ぼう

赤い付け鼻と大きな靴をトレードマークに、サーカスや劇場で活躍するクラウン（道化師）。基礎が学べる教室が、川崎市で人気を集めている。「空気を読んで相手をつなごます」。クラウンの技術は子供ばかりでなく、看護師や教師などにも注目されている。

（斎藤博美）

4月の教室では、小学生から大人まで、様々な年代が20人以上集まった。この日は「コミュニケーション・シヨントレーニング」。ペアを組んで、1人が目をつぶり、もう1人が声だけで誘導するレッスンは階段もあり、いかげんな誘導だと危険。子供も集中して真剣そのものだ。

「ここでは大人も子供も関係ない。ふざけてやるのががじまです」と講師の橋本千鶴子さん（41）は注意を促す。

2時間ほどのレッスンは終わると、1人ずつ舞台上でパフォーマンス。初めは恥ずかしがっていた小学生も元気な笑顔であいさつするようになった。

この教室は、子供たちが昨年秋に演じたクラウンの舞台「ア

入門教室が人気



A Clown」をきっかけに始まった。国際的な活動を続けるクラウン・デュオ「ロネ&ジー」の話す。「最初は言う

ジ」のジージとして活躍する橋本さんは、「クラウンを通じて、クラスでも積極的になったという子供の話を聞きます」と人気の秘密を語る。

近くに住む小学校教諭中村邦彦さん（48）は家族4人で参加した。「昨年の舞台に参加した長女（10）と次女（7）の練習をみているうちにクラウンの魅力にはまった」と話す。「最初は言う

川崎 心ほぐす魅力 看護師や教師も参加

ことを聞かなかった子が、レッスンを通じて輝き出す。教諭にとっても勉強になる。千葉県船橋市から参加した看護師妙井幸帆さん（26）は、病気の子供を助ますホスピタルクラウンに出会ったのがきっかけで、2年前からクラウンを学ぶ。小児科病棟で働く妙井さんは「子供たちとコミュニケーションをとる力がついたような気がします」と魅力を話す。「クラウンは人をいたわる力も持つ。自分を表現する楽しさを味わってほしい」と橋本さんは話している。

今回の教室は15日（麻生市民館）、29日（川崎市アートセンター）に開催。受講料は1人3500円。2回共通や2人で6000円のペアチケットも。小学3年生以上ならたれでも可。先着20人。

また9日（午後7時開演）、10日（午後2時開演）に、ロネ&ジーさんの舞台「クラウンのいる風景―思い出のカケラ」を川崎市麻生区の川崎市アートセンターで上演。当日券は一般4500円。問い合わせはともに同センター（044・955・0107）へ。

昨年秋の舞台「Be A Clown」から、小学生から高校生まで30人近い子供たちがクラウンの世界を体験した川崎市アートセンター提供